

## 第一部:いわて震災小説 2021 入賞作品授賞式

朗読劇～公募震災小説より～最優秀作品「沈丁花の咲く場所で」 作:神久保敬里 構成・演出:坂田 裕一

いわてアートサポートセンターでは、東日本大震災および震災後の情景や心の動き、復興、暮らしをテーマにした短編小説を募集しました。寄せられた力作のなかから最優秀賞に選ばれた作品を朗読劇として上演します。

### 【出演】



#### 畑中 美耶子

IBC 岩手放送アナウンサーを経て、役者としても活動。  
2011 年からは「もりおか歴史文化館」館長を務める。



#### 大塚 富夫

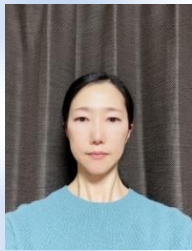
IBC 岩手放送アナウンサー。IBC TOP40 や IBC ラジオチャリティミュージックソンのパーソナリティとして活躍。トーク番組を中心に、近年は県内各地で催される朗読会にも出演している。

### 【演奏】



#### 鈴木 牧子

盛岡市在住。ジャズピアニスト。1996～98 年、自身率いるカルテットで横浜ジャズプロムナードその他のコンテストで優秀賞3度受賞。2016年1stアルバム『My Dear』を発表。翌年発売記念ツアーを新宿ピットインなどで行う。2018年2ndアルバム『NEXT』を発表。オリジナル曲『BOKYO』が J-WAVE の番組『WITH』のエンディングテーマに取り上げられる。2019年、盛岡おでってホール、新宿ピットインなど数カ所で開催記念ツアーを行う。



#### 永井 志穂

高校演劇出身、劇団赤い風所属。朗読劇は2012年『12の贈り物』、2016年『あの日から』などに参加。



#### 山井 真帆

二戸演劇協会 the 雲人所属。主な出演作品に「誰もがリーダー 誰もがスター」、朗読劇「事故の死角」、劇団赤い風「風のように、風のように」、二戸市民文士劇「みちのく忠臣蔵～相馬大作物語」など。

## 第二部:ディスカッション「震災と文学を語る」

いわて震災小説 2021の審査員を務めた作家をゲストに「震災と文学」のテーマでディスカッションを行います。

### 【ゲスト】(五十音順)



#### 柏葉 幸子

岩手県宮古市生まれ花巻市出身。童話作家。「霧のむこうのふしぎな町」でデビュー。他に「帰命寺横丁の夏」被災地を舞台にした「岬のマヨイガ」近著「湖の国」がある。

©講談社写真部



#### 外岡 秀俊 \*リモート参加

(作家・元朝日新聞社東京本社編集局長)  
1953年札幌市生まれ。作家、ジャーナリスト。元朝日新聞社編集局長。著書に石川啄木をテーマにした小説「北帰行」がある。東日本大震災の際は、現地に取材に入り、啄木、賢治の世界から、震災を考察した。

### 【コーディネーター】



#### 坂田 裕一

(特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター理事長)  
元岩手県演劇協会会長、公益財団法人全国公民館連合会理事、など。また、日本演出者協会会員でもあり、いわてアートサポートセンターや所属する劇団赤い風の演劇公演の演出を多数手がけている。震災後はいわて文化支援ネットワークの設立を主導するほか、二戸市民文士劇やみやこ市民劇などの市民参加劇の演出を担当。

### 【会場周辺地図】



### 【アクセス】

#### 《バス》

- ・盛岡駅東口 13 番乗り場「矢巾営業所行き」乗車、「南大通二丁目」降車
- ・盛岡駅東口 5 番乗り場「盛南ループ(右回り)」乗車、「南大通二丁目」降車

#### 《徒歩》

- ・旧盛岡バスセンターより 20 分
- ・仙北町駅より 20 分
- ・南大通二丁目バス停より 7 分

#### 《タクシー》

- 盛岡駅より 10 分／仙北町駅より 5 分

もりおか町家物語館・石神の丘美術館 共同・同時開催

<鈴木誠 描き伝える東日本大震災> 3月6日(土)～4月11日(日) もりおか町家物語館 カフェ DOMA にて展示